

専門家の知識と
当事者の経験から
吃音を知る・学ぶ。

伊勢

吃音のつどい
きつおん

6月1日 (土)

10:30-12:00 / 13:30-16:30

会場：いせ市民活動センター (JR伊勢市駅 徒歩5分 / 近鉄宇治山田駅 徒歩10分)
(午前) 会議室A (午後) 多目的ホール

参加無料

10:30-12:00

講演

吃音のある子どもの
理解と対応方法

講師：言語聴覚士 横井秀明
(なるみ吃音相談室)

14:10-15:20

講演

吃音のある人のQOL

吃音のある人が
よりよく生きるためのヒント

講師：村瀬 忍
(岐阜大学教授)

15:30-16:30

吃音相談会

三重言友会
(吃音の当事者団体)

主催 三重言友会・NPO法人 全国言友会連絡協議会

後援 三重県、三重県教育委員会、伊勢市、伊勢市教育委員会、玉城町教育委員会
三重県言語聴覚士会、日本吃音・流暢性障害学会



伊勢 吃音のつどい

プログラム

10:30-12:00

講演「吃音のある子どもの理解と対応方法」



講師：言語聴覚士 横井秀明
(なるみ吃音相談室)

略歴：関西学院大学大学院法学研究科博士前期課程修了。政府系金融機関勤務後、日本福祉大学中央福祉専門学校言語聴覚士科卒業。鶴飼リハビリテーション病院を経て、現職。

13:30-14:10 三重言友会の紹介・体験発表

吃音のある人の自助団体である「三重言友会」について紹介しながら、会員が学校や職場での吃音に関する経験を語ります。

14:10-15:20

講演「吃音のある人のQOL 吃音のある人がよりよく生きるためのヒント」

講師：村瀬 忍
(岐阜大学教授)



略歴：米国シラキュース大学言語病理学専攻科修了。筑波大学大学院心身障害学専攻科修了。岐阜大学大学院医学系研究科医学専攻科修了。平成23年より岐阜大学教育学部教授。博士（医学）。

15:30-16:30 吃音相談会

事前に受け付けた質問に対して、講師（横井先生・村瀬先生）と吃音の当事者（三重言友会）がお答えします。

参加方法

<https://www.kokuchpro.com/event/isetsudoi/>

から事前にお申し込み下さい。



お願い

- ・午前・午後ともに会場で飲食可能ですが、ゴミは必ず各自でお持ち帰り下さい。なお、会場周辺には飲食店が多数あります。
- ・会場の駐車場の数が限られていますので、出来るだけ公共交通機関を利用してお越し下さい。
- ・お問い合わせは、info@zengenren.orgまでお願いします（担当：田中）。

言友会は、吃音のある人のセルフヘルプグループ（自助団体・当事者団体）として、1966年に発足しました。個々の吃音体験を分かち合う「例会」を中心として、会報の発行や吃音に対する理解を深めるためのイベント開催などの取り組みを通して、会員それぞれが「**吃音があっても豊かに生きる**」ための方法を見つけるべく、現在では全国30カ所以上で活動しています。

三重言友会は、三重県で活動している言友会で、1987年に発足しました。月1回の例会では、吃音体験の共有とともに、吃音のある人が苦手とすることが多い朗読や電話、面接の練習のほか、3分間スピーチなどを実施しています。

これまで北勢を中心に活動してきましたが、今回、南勢地域にも活動拠点を築くべく、この「伊勢・吃音のつどい」を企画しました。「**吃音があっても豊かに生きる**」ことのできる選択肢を多くの人に広げるために、是非ご参加ください。



吃音（きつおん）とは

吃音は、「スムーズに話せないこと」で、かつては「どもり」とも呼ばれていました。しかし、吃音によって引き起こされる問題は「スムーズに話せないこと」そのものだけではなく、**食べることを恐れるあまり、話すことに消極的になってしまい、場合によっては深刻な社会不適応に発展していくこと**だとされています。そのため、表面的な症状の重さと、心理的な悩みの深さは必ずしも一致しません。だからこそ、**周囲の理解が必要**とされているのです。